

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 環境安全・防災課

担当課長名:水野 宏治

事業名	空港・港湾等アクセス 主要地方道秋田天王線 秋田港アクセス道路				事業区分	地方道	事業主体	秋田県		
起終点	自: 秋田県秋田市飯島 至: 秋田県秋田市上新城						延長	6.1km		
事業概要 秋田港アクセス道路は重要港湾秋田港と秋田自動車道秋田北ICを結ぶ道路であり、大型トレーラーの走行性向上や定時性の確保、クルーズ船旅客の周遊ルート拡大等を目的とし、秋田市飯島～秋田市上新城までの延長約6.1kmを整備するものである。										
H31年度事業化			H31年度都市計画決定		R2年度用地着手		R2年度工事着手			
全体事業費		約185億円		事業進捗率		約29%	供用済延長	—km		
計画交通量		2,100～14,500台／日								
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用		(残事業)/(事業全体)		総便益		(残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体)	(事業全体)	106 / 168億円		186 / 186億円					
	1.1	4.5 %	事業費: 99/161億円		走行時間短縮便益: 179/179億円				令和6年	
	1.7 [2%]		維持管理費: 7.2/7.2億円		走行経費減少便益: 3.6/3.6億円					
	2.2 [1%]		更新費: - / - 億円		交通事故減少便益: 2.6/2.6億円					
	(残事業)	(残事業)	感度分析	(事業全体)			(残事業)			
	1.8	交通量		B/C=0.9～1.3(±10%)		交通量	B/C=1.5～2.0(±10%)			
	2.5 [2%]	事業費		B/C=1.0～1.2(±10%)		事業費	B/C=1.6～1.9(±10%)			
3.2 [1%]	事業期間	B/C=1.1～1.1(±20%)		事業期間	B/C=1.7～1.8(±20%)					
事業の効果等										
○物流ネットワークの形成 ・近年、重要港湾秋田港はコンテナ取扱量の増大やクルーズ船の寄港回数の増加などにより、港湾を取り巻く状況が変化しており、秋田港と県内の骨格である秋田自動車道を直結することにより、物流効率化や観光振興を図る										
○救急医療活動の支援 ・二次救急医療施設である秋田厚生医療センターへのアクセス向上により、救急医療活動を支援										
関係する地方公共団体等の意見										
以下の団体から整備促進について要望あり。 ・秋田商工会議所 ・秋田港振興会										
事業評価監視委員会の意見										
事業継続を妥当と認める。										

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
周辺環境等に特に変化はない。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
用地取得率約95%、事業進捗率約29%	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
早期開通を目指し、工事を推進していく。	
施設の構造や工法の変更等	
現場内発生土の有効利用、再生資材の積極的な使用等により、コスト縮減に努めながら、事業を継続する。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	緊急性、効率性が高く、費用対効果の投資効果も確保されているため。
事業概要図	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([])内は社会的割引率の値)